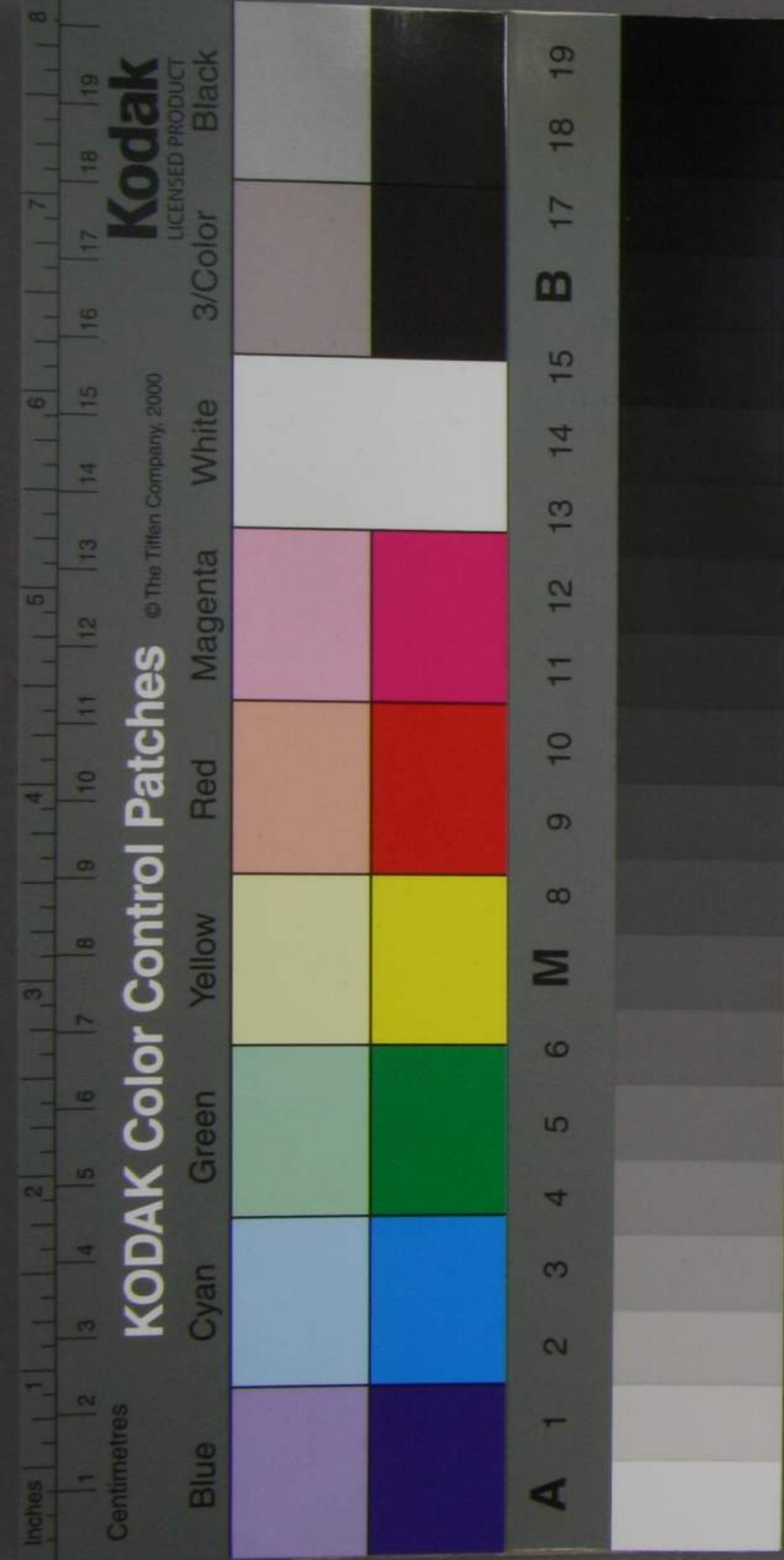




在来ノ金札ヲ新楮幣ヲ以テ引替ヘテ以将来ヲ十
分ニ一定スル為メニ既往ノ事ヲ熟考スルヲ要ス夫レ今
般日本ハ大变革アツテ幸イニ都合宜ク運ニタレバ
到底内乱ノ餘害未タ全ク除尽セス孰中種々弊
害尚チ存セリ孰中其ノ尤ナル者ハ政府ノ金計室
竭ル而カモ引替ヘノ為メ金札國內ニ発行セリ是
則無理押シノ国債ト同様ノ者ニシテ政府ニモ害アリ并
セテ人民ニモ害ス蓋シ内乱ノ戡定ニ及ブ比オヒ迄ニ
金札五千万兩程ヲ鋒刃ノ威ヲ以テ國內ニ強ヒテ散

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

414
A 1720
1



出し十三年ニ引替ユ可シ外ノ約束ヲナセシテ是等^{如此}
嚴急ノ処置ハ日本国内ノ事ト雖モ亦外^三國交易^ミ上
痛痒ナクシバアラズ是ヲ以テ殆ント万国公法ノ議
論ヲ起サントセシカモ幸ヒシソ無事ニ寢シタリ
通^ニ日本政府モ亦十三年ノ間其ノ金札ヲ無理押
シ^ニ国内ニ通行セシムル見序ヲ改メテ伶俐ナル
方略ヲ以テ其ノ期限ヲ短クシメ三年ノ内ニ引替ユ
可シトノ布告ヲ出シ而シテ其ノ三年ノ外ニ引替^ニ殘
リシ金札ノ令ハ即チ之ヲ國債ト爲メ六分ノ利息ヲ
與フ可シト云フ更シ令セリ此ノ三年目ハ即チ西

洋千八百七十二年^ノ末^ニ當ル是ノ布告ノ^出テシヨ
リ^カ之^ニ因テ金札ノ通用更^ニテ壅滯セス内國ニ貨
幣同様ニ取引キヲ爲ス者トナレリ然^ルニ此ノ通用ノ
宜^シク成^リレ^ハ此^ノ三年目ニ引替ユ可シトノ期限^ノ
近^クナリシ^ニ由^ルテ否^ハ歟ハ必スモ茲ニ贅論ヲ費ヤ
サス^即今入用ノ事ハ如此キノ約束アルト将^テ金札
ノ貨幣同様ニ通行ヲ爲シ在^ルト^者是^レ尤モ茲ニ
緊要ノ款ナリ蓋シ金札ノ急ニ引替ズンバアル可^クラ
ガルノ事情^故曾^テ十分アリシカモ即今ニテハ此ノ事情^故
十ノ七八^ノ消^セ減^セリ且^ツ曠^日新貨幣鑄造ノ事

頃日^俄カニ障碍アリテ已ムヲ得ズ遲延スル事ヲ生
セシナレバ此ノ在来ノ金札ヲ貨幣ニテ引替ル^ル得
之ヲ^{遅延}シテモ可ナルベシト思フナリ 此是レ今般
在来ノ金札ノ代リニ^{極上}ノ新楮幣ヲ造リ以テ之ヲ引
替ユルノ見序アリ 蓋シ精巧ニ之ヲ造テ偽贋^も得サ
ラレノ且ツ今般ノ新貨幣ノ様ニ模倣メ之ヲ造ラントノ
見込ナリ而シテ其ノ新楮幣^{其ノ}値直ヲ西洋ノ文字ニテ
書入レシナラバ西洋人モ日本人モ皆ナ^{歡喜}シテ之ヲ使
用スル事トナル可シ如此ク在来ノ金札ヲ更タムル故ニ
新貨幣ニテ引替ユル三年ノ期限オハ之ヲ延バシメ六年

ノ期限トナシメ可^{ナリ}ト思フナリ 即ハ千八百七十
二年ノ末迄ニ引替ヘ訖ル可キ者ヲ千八百七十五年ノ
末迄延バス者ナル而已余ノ考ニテハ是ノ事ニ就テハ
更ニ妨碍ノ^筋ハ決メ之ニ無ル可シト思フナリ 却
テ此ノ新楮幣ノ出ル因テ^{格別}便利アル可シト
思フナリ 但シ其ノ新楮幣ニ書入ルヲ要スル事三件
アリ一其ノ之ヲ製造セシ所以ノ事故一如何ナル為メニ
之ヲ製造セシト云フ訣一其ノ結局ノ仕末ナリ 則
チ試ニ其ノ雛形ヲ左ニ記ス
一在来ノ金札ニ引替ユル為メノ者ナリ

一政府於テ開港場ノ運上ヲ除ク外凡百ノ租税諸租稅及ヒ
諸收納一切ニ之ヲ領受ス可シ

一千八百七十九年ノ末ニ至リ國債ノ證券ヲ以テ之ヲ引
替ユ可シ

奉_レ某官某姓某名ノ命_ヲ造ル 某姓名 印

先_ツ大概如此ノ意味ニシテ尚方此ノ外ニ年月日及ヒ
号数ヲ記シ并ニ色_ノ線_ヲ續畫シ圖_シ以テ新楮
幣_ヲ畫キ入_レシナラバ宜シカル可シ而メ別ニ布告書ヲ以
テ人民_ニ精細_ニ之ヲ_{告知セシム}或ハ各國ノ公使_ニモ_{告知セシム}尽リ
告知セシナラバ宜シカル可シ此ノ告示及ヒ告知ハ必

ラスレモ之ヲ急_ニ為サスレテモ宜シ然レ但シ外國人ヨリノ
諸運上_ヲ此ノ楮幣ヲ以テ拂フ_ト莫_ク得ズト云フ事ヲ
バ明_ラカ_ニ之ヲ_{告知セシム}ルヲ要ス

一政府ニテハ此ノ楮幣ノ通行シ在ルノ際ニ其ノ時宜_ラ
看_テ貨幣ヲ以テ之ヲ買上_{ケル}事ヲ施_メ宜_カル可シ而
モ其ノ残_リノ楮幣_ヲ以テ之ヲボンド_ト付受セ
ラレ_ル莫_ク望_ミテ國民ヨリ呈出スル時ニモ大張_リ其ノ
便宜_ニテ貨幣ヲ以テ之ヲ拂フ_ト勝_チニテ宜_シ蓋_シ政
府_ニ於_テ其ノ期限及_ニテ之ヲ貨幣_ニ拂フ_ト得_ルボ
ンド_ト為_ルモ自由_ニ成_テ居_ル者_ハ其ノ_ハ千八百七

十五年ノ末に到テ悉ク貨幣ヲ以テ引替ユ可シトノ約束
ヲ預ジテ立テシ者ヨリ大ニ都合宜シクメ決メ不都合
ノ事起ラサル可シ

今迄何時何処ニ於テポントノ利息ヲ拂フ可シト云
フ夏モ告ホセズ又々其ノポントハ如何程ノ数ヲ幾
何年月ノ降タ其ノ国内ニ出シテ置クト云フノ定リモ
莫シ是ニ固リ即今ニテ做シ難キ者ナリ而シテ即今
急ニ之ヲ定メズンバアル可ラズト云フニモ非ザレ氏然ル
又々其ノ中深ク勘辨ヲ爲シ善ク之レカ定リテ立
ツルヲ要ス

人民ニ於テ其ノ楮幣ノ引替ノ期限ヲ過クルニ到リテモ
之ヲポントニ引替ヘズメ矢張貨幣同様ニ之ヲ使用
セシメ望ム者アレバ即チ之ヲ勝ちニ准允ヲ宜シカル
可シ政府ニ於テモ此ノ楮幣ノ引替ヘテ當サレポントヲ
與フ可キ処ノ貨幣ヲ遣セバ復タ其ノ楮幣ヲ使ヒ出
スル勝ちタル可シ如此スレバ則チ此ノ楮幣ハ何時ニモ
其ノ持主ノ望次第ニ貨幣ト引替ユル通用ノ楮
券タルナリ而シテ且ツ万一貨幣ノ不足スル時ハ政府ニ於
テポントヲ以テ之ヲ拂テ可ナルノ理アリ如此ナレバ
則チ決メ貨幣ノ不足ヨリメ不都合ノ起ル事ハ之レ無

キナリ然ト雖モ是ノ方法ハ頗ル會計ノ道其ノ正キヲ
得且ツ~~取替~~確固トスツニ非ルヨリハ之ヲ為スヲ得ズ
夫レ貨幣ヲ以テ引替ユル度ヲ起始シタルニ或ハ其ノ不
足スルニ因テ復タボンドニテ引替ニヨリハ寧ロ其ノ
起初ヨリメ悉ク之ヲボンドニテ引替ユル更宜シカル
可シ而メ若シ會計官ニ餘金ナル者ナラバ即チ之ヲ
以テ其ハボンドヲ拂フテ^{宜シカル}可シ而メ其ハボンド
ノ内^{如何ナル}ハボンドヨリメ先ク之ヲ拂ハント云フ更ハ即
ハ千圓ヲ探リテ其ノ号数ノ中リシボンドヨリ之ヲ
拂フ者宜シカル可シ其ノ細微ノ処ニ至テハ逐而之ヲ

定メテ宜シカル可シト思フナリ唯茲ニ~~會~~楮幣ヲ引
替ユル事ニ付テ聊カ其ノ梗概ヲ挙ケレ而已
ボンドノ代リニ政府ハ收受セシ楮幣ハ悉ク之ヲ破
リ棄テズンバアル可ラス何トナレバ其ハボンドト引
替シ楮幣ヲ復タ之ヲ使ヒ出セバ是レボンドト楮幣ノ
二物共ニ出ル者ナレバ更ニ其ノ際限ナキニ到ル可シ蓋シ
此ノ楮幣ヲ破棄スル時ニハ其ノ撤リノ役人十分ニ合
テ其ノ破棄セン事ヲ検査ス可シ而メ其ノ役人ノ自己ノ
目ニテ看ラセシ丈ケノ者其ノ受合タルナリ若シ万
一差誤ノアリシ時ハ其ノ撤リ合ヒノ役人其ノ責ミ

當ル可シ

何時ニテモ其ノ持主ノ望ミ次第ニ其ノ紙幣ヲ引替
ユルノ為ニ外國ノバンクニテハ早晚ニテモ悉ク其ノ引
替ヲ做シ得ルノ準備ヲ為シ在ル者ナリ如此キ事ヲ
日本ニテモ能ク注意シ大抵如何程ノ準備金ヲ做シ置
カザンバアル可ラズトナフ
カ要スル心ヲ得トナル可シ蓋シ極メ太平無事ノ時ニ
其ノ楮幣ノ人民ノ安心ノ付キし時ニハバンクノ準備金
ノ高其ノ楮幣ノ高ノ三分ノ一位イナリ但し是ヨリ多ク
準備シ置クノバンクモアリ

廣ク楮幣ノ事ヲ論ジシメ之ヲ觀シバ日本ハ已ムヲ得ス

其ノ人民ヨリ國債ヲ無理押シニ取リ立テ而シテ金札ヲ
國內ニ無理ニ通用セシメハ畢竟已ムヲ得ズ之ヲ
為セシ者タリ是レ就テ深ク察セズンバアル可ラ
ザル者ハ何ノ國ニテモ是等ノ事アル時ニハ唯其ノ政府
ノ良政府ナレバ必ラス速カニ其ノ楮幣ヲ復タ貨幣ヲ
以テ之ヲ引替ル事ニ竭カシ以テ其ノ已ムヲ得ズ
為セル罪過ヲ改メントス是レ即チ道理ナリ是レ故
ニ日本ニテモ如何様ニ為ソ速ニ其ノ楮幣ヲ廢シ而シ
新貨幣ノ通用金ヲ起サバ宜シカル可シ如此クスレバ
則チ國ノ繁昌政府ノ威權モ盛大ニ進ム可シ

114
A1720
2

西洋（新規）楮幣ヲ詔詔ラヘル時ニ其ノ紙屋職人
ヲ選ラズ其ノ処ハ余程注意スルヲ要ス細工上
手ニ出来ルト其ノ評判ノ名高ナルト余程入用アル者
ナリ之レヲ選バニ即ハチ日本政府ヨリ從來懇
親ヲ受ケテ善リ熟知セウシテ亦向後ノ不都合
ナキ様ノ受合ヒトナル可キ者ニ頼シテ周旋ヲササ
シムルヲ要ス而シテ日本ヨリ特ニ士官ヲ英國（遣
ハス莫ハ便慧ノ処令ニ宜シカル可キ莫ナリ即チ
此ノ士官モ英國人民中ノ最尊貴ニナリ且ツ公平
ナル人ニ商量ノ幹旋スルヲ要ス其ノ商量ヲ受ケ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

中橋玉林堂

依托セラル人モ從前自家ノ為メ為セシ事歟或
ハ其目今自家ノ為メ營為メ居ル者ノ如クニ之ヲ周旋メ宜シ
カル可シ

新楮幣ノ最モ低キ者ハ十セント止位イニ定メル
宜シカル可シ思フナリ然レ氏日本政府ヨリメ西洋へ
遣ハスノ士官ニ十分善ク委任メ其ノ士官ノ差遣ノ
上ニテ五十セント以下ノ楮幣ハ製造セザル
宜シカル可シト云フ得失ノ顯然スル事アラハ則チ五十
セント以下ノ製造セズト云フ大ケノ権
ヲ此ノ士官ニ付与スルヲ要ス如此キ時ハ此度日本

ニテ製造スル小貨幣ヲ以テ五十セント以下
ノ遣ヒ拂ヒノ用ニ供スル者ト成ル可シ

先ツ於是ニ議論ヲ終レリ然ルニ是レ就テ日本ノ新
楮幣ト外國ノ貨幣トノ際タハ如何様ニ成リ行ク可
キ歟ト云フノ一ト通リノ考ヘヲ言フ可シ之ヲ考ヘテ
看レバ自然ト日本ノ新貨幣ト外國ノ貨幣トノ
ハ必ス其ノ想ル度ト成ル貨幣ト貨幣トヲ以テ
互ニ引替ユルニサヘ欠員ノ附ク位イノ事ナル故ニ
別ニヤ貨幣ト楮幣トヲ以テ引替ユル時ニハ幸ニ茲
ニ止ル歟或ハ是レヨリ尚カ一段モ劣ル様ニ成ル可シ

干與

是故日本ノ大藏省ニテ目今第一ニ注意ス可キ
者ハ貨幣ノ位イオメ到底其ノ違ヒナカラシム
ル様ニ為スヲ要ス是レ唯日本國ニ在テ而已非
ラス西洋マデモ日本ノ貨幣彼ノ位負ナク通
行スル様ノ工夫ヲ為スヲ要ス此ノ事ヲ考ヘル時ニ
ハ復タ自然ト日本ノ造幣所ハ想^{極ス}
想ヤレバ則チ其ノ造幣所ニ外國人ノ関係セル
処ハ想^{極ス}

外國人ノ造幣所ハ干與スル夏一旦停廃セバ日
本ノ貨幣ハ果テ何如ンゾヤ是レ決シ疑ヒラ容レズ

中橋玉村堂

目今ノ景況ニテハ外國人ノ日本ノ造幣所ハ干預
スルノ際タ誠ニ短促ナリ而シテ其ノ際ニ日本ノ新貨
幣ノ至ル可キ丈ケノ位地近之ツルボス事ハ甚
タ難シ是ノ事ハ必ラス善ク熟察詳思ノアラシ
事ヲ望ムナリ日本ノ造幣所ト日本ノ元ノユ
ニツトトハ日本將來ノ变革ノ基本タラシ者ニ
ソ即チ日本會計ノ道ノ基本ト看ル可シ苟モ
此ノ基本確^固ナラバ^堅確ナラバ^堅確ナル者^アンヤ
新楮幣ノ分ケ方ノ夏

百元ノ札	二百萬
五十元ノ札	百萬
十元ノ札	五百萬
五元ノ札	五百萬
二元半ノ札	五百萬
一元ノ札	二千萬
五十セントノ札	六百萬
二十五セントノ札	六百萬
通計	五千萬元
一兩ノ楮幣ハ新楮幣一元ノ者ト引替ユルト云フ	

者ヲ定メシナラバ宜シカル可シ如此スレバ則チ二十
 五セントノ札ハ今ノ一分札ト引替ユル夏ト成ル
 予ノ考ヘニテハ二十セント止及ヒ十セント止五セン
 ト止ハ皆ナク貨幣ニテ製造スル者宜シカル可
 シ二十五セント止或ハ一兩ノ四分ノ一ヨリ以下ノ小
 札ハ製造セザル者宜シカル可シト思フナリ

中橋土林堂